

“Popularization of Democracy in Post-war Japan”

Online Exhibit project

— Making history alive again

横田カーター啓子

University of Michigan, Hatcher Graduate Library
Japanese Studies Librarian



(slide 1)

はじめまして。ミシガン大学で日本研究司書をしている、横田カーター啓子と申します。私はアーモスト大学 Amherst College で日本語を教えていたので、同志社大学には自分の第二の母校のように親しみを感じており、同志社で講演がで

きて幸せです。アーモスト大学と日本の関係は深く、例えば、「青年よ大志を抱け、イエスの名の下に」の言葉で有名なクラーク博士はアーモスト大学を卒業後、「お雇い外国人」として日本の北海道大学で教えました。また、アーモスト大学には新島襄先生だけでなく、日本のプロテスタントキリスト教の広がりや人権、民主主義思想の発展に影響を与えた内村鑑三をはじめ多くの知識人、そして駐米大使になる多くのキャリア外交官も留学しています。アーモスト大学の教育は地下水脈のような形で日本の文化と歴史に影響を与えてきたことを、私はアーモストで教えていた時に学びました。

スライドにあげた「Popularization of Democracy in Post-war Japan」というのは、2017年9月にノルウェーのオスロ大学で発表した時のタイトルです。今日はその時の発表も含めて、資料の収集と保存、アクセスと図書館の役割について問題提起になるようなお話をしていきます。



(slide 2)

私はアーモストで日本語を教えていましたが、文化や情報に興味を持っていました。皆さんの生まれる前の話になりますが、1980年代後半、情報革命が起こり、社会の大きな変化を感じ、IT・コンピューターを勉強しないと「負け組になっ

てしまう」と思いました。スミス大学でも日本語を教えていましたが、その図書館で通信ソフト Gopher について話を聞く機会があり、なぜ図書館でそのようなコンピューターの話をするのか疑問を抱きました。そのころの私は、図書館は「本のある場所」「カードカタログ」というイメージ。そこで司書に訊ねると、情報に関する事だから、図書館で研修するという返事でした。スミス大学の司書は、コンピューターが扱うのは「情報」、図書館の役割は「情報」と「知識」の提供。だから、情報伝達ソフト Gopher について教えるのだと説明してくれました。本の置き場所だと思っていた図書館が「情報を収集し、提供し、取得する場所」であり、その提供の仕方も技術の進歩とともに変化するというのが、新しい発見でした。


アメリカで司書になるためには、ライブラリー・スクール（大学院）で修士号を取らなければなりません。しかし、当時はライブラリー・スクールが次々に閉校し、インフォメーション・スクール（大学院）に変わっていた時期。そこで、ミシガンの School of Information に進学しました。「情報学」という新しい概念は新鮮で、図書館とコンピューターの組み合わせなら、文系の自分でも新技術を学べそうと思ったのです。従来の図書館リファレンスも学びながら、未知の世界が開けるようでした。

ミシガン大学では、日本研究が盛んに行われていることを、何かのきっかけで知っていました。私は英語はネイティブではないので不利。でも日本語ができ日本についての教養があることは有利。日本研究と情報学のコンビネーションは、自分にとって米国生活できっと「生きるチカラ」になると思いミシガンの大学院に入学しました。図書館情報学修士号を一年半で取得。はじめは OCLC という図書館情報データベースの会社で一年働き、その後シアトルのワシントン大学で司書を13年間勤めて、2012年にミシガン大学に移りました。

- ミシガン大学について
- ミシガン大学図書館について
- 北米の日本語資料について
- ミシガン大学図書館の一資料の紹介
憲法普及会のスライドコレクション
- 最後に
皆さんへの問い-私たち皆のこれから
図書館は何のために、誰のために、存在するのか

(slide 3)

本日のお話の概要です。冒頭であげたのは (slide 1)、ミシガン大学図書館にある憲法普及会（新憲法を普及させるための団体）のスライドです。今日はこれを中心にお話していきます。



Bi-centennial established in 1817, Co-education in 1870

- 3 campuses - Ann Arbor, Flint, Dearborn
- Undergraduate students – 29,821 (female 14,855, male 14,966)
- Graduate students – 16,181 (female 7,739, male 8,442)

(slide 4, 5, 6)

その前にまず、ミシガン大学についてご紹介します。ミシガン大学は州立の総合大学です。世界各国から学生が来ている国際的な大学で、中国、インド、韓国からの学生が多くなります。日本人は86人で(2015年の統計)、日本経済が NO1 だった1980年代が最多でしたが、現在は減っています。



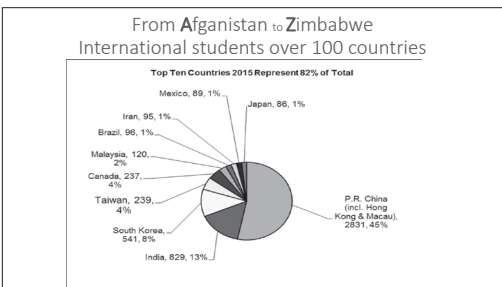
HOME SWEET HOMELAB
Other researchers estimate that 7% study here people use our space to their advantage. University of Michigan was just ranked by the researchers.
Learn more about the new U-M HomeLab @

19
INTERNATIONAL STUDENTS

260
FROM 100+ COUNTRIES

U-M FACULTY MEMBER
PHILIPPA HAZEL
AND
MAYOR OF ANN ARBOR
MICHIGAN STATE UNIVERSITY
RESEARCHER IN RESIDENCE
LAWRENCE HAZEL

M
CENTENNIAL



Estimated Fall/Winter 2017-2018
(SEPTEMBER - JUNE)

MICHIGAN RESIDENTS (In-State)

Lower Division Undergraduates	Upper Division Undergraduates	Graduate Students
\$14,826 TUITION & FEES**	\$16,006 TUITION & FEES**	\$22,696 TUITION & FEES**
\$11,198 HOUSING & MEAL***	\$11,198 HOUSING & MEAL***	\$15,116 HOUSING & MEAL***
\$1,048 BOOKS & SUPPLIES	\$1,048 BOOKS & SUPPLIES	\$1,192 BOOKS & SUPPLIES
\$2,454 PERSONAL & RESC.	\$2,454 PERSONAL & RESC.	\$6,392 PERSONAL & RESC.
\$39,526 TOTAL BUDGET	\$33,706 TOTAL BUDGET	\$45,376 TOTAL BUDGET

NON-RESIDENTS (Out-of-State)

Lower Division Undergraduates	Upper Division Undergraduates	Graduate Students
\$47,476 TUITION & FEES**	\$50,808 TUITION & FEES**	\$45,494 TUITION & FEES**
\$11,198 HOUSING & MEAL***	\$11,198 HOUSING & MEAL***	\$15,116 HOUSING & MEAL***
\$1,048 BOOKS & SUPPLIES	\$1,048 BOOKS & SUPPLIES	\$1,192 BOOKS & SUPPLIES
\$2,454 PERSONAL & RESC.	\$2,454 PERSONAL & RESC.	\$6,392 PERSONAL & RESC.
\$62,176 TOTAL BUDGET	\$65,508 TOTAL BUDGET	\$68,194 TOTAL BUDGET

(slide 7)

授業料を見てもらうとわかりますが、こんなに高額では留学は困難ですね。米国民は州内出身であれば安くなりますが、州外からだとなんて授業料は3倍以上、約5万ドルと高くなります。そのため、皆さんには交換留学制度を使うことがおす

すめです。留学生は学内で働くことができ、そこでソーシャル・セキュリティ・ナンバー（マイナンバーのようなもので身分証明として必須）を取得することもできますので、是非、皆さんが留学された時には、大学内で働いてみてください⁽¹⁾。働くことにより、いろんな年代や性格の違う人、英語がネイティブでない人と交流することにもなり、異文化の人とコミュニケーションする能力を高めることができます。


M Library
University of Michigan

UIM Library (Hatcher Graduate, Asia, Undergraduate, Special collection, Math, Science, Media, Chemistry, Music, Art & Engineering, Fine art, Health Science),
Business Library, Law Library,
Bentley Historical library

2015 - 2016 Collection 14,194,430 volumes
(Japanese monographs 341,974 volumes as of July 1st, 2017)

Professional Staff (librarians, specialists, administration managers) 205
Support staff 340
Student assistants 114

Expenditures
Materials \$27,118,176 (¥27億円)
Salaries & wages \$34,946,260



Law School Library

(slide 8)

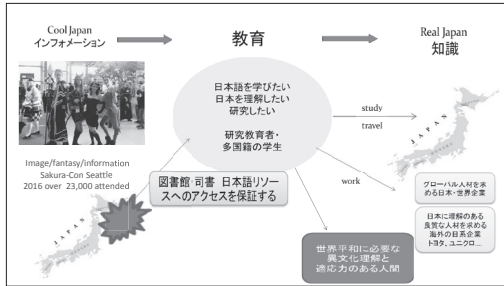
ミシガン大学図書館についてお話すると、蔵書数は多く、予算も潤沢で、その予算で有料データベースを賄っています⁽²⁾。学生アルバイトも雇用しており、例えば日本語書籍を扱うために日本語ができる留学生を雇っています。その中には日本人以外の学生もいます。



(slide 9)

日本研究を行っている機関は全米で411機関あります。そのうち11%だけが、日本研究のための資料購入予算を持ち、私のような担当司書を雇用しています。日本語資料購入予算別に、緑、紫、最も多いのが赤の星印です。日本について言

語、歴史、文学を教えている残りの89%の大学の研究者や学生たちには、このような「特権」はありません。この大部分の人たちにどのように日本に関する資料のアクセスをよくするかは重要な問題です。



(slide 10)

これは現在の日本研究を巡る図です。クールジャパンがきっかけで日本に興味を持ち、日本語を学び研究を行うようになった学生が多くいます。例えば、毎年4月にシアトルで開催されているサクラ・コン (Sakura-con) というイベント

トでは、高校生・大学生が毎年二万人以上集まりコスプレを楽しんでいます。

「日本に行きたい」、「日本語を学びたい」、「日本とアメリカの文化の違いを学びたい」という学生たちのために、図書館では資料を揃え、提供しています。こうして学ぶことによって、個人の持つ日本のイメージや情報が、教育を通して知識に変わり、異文化への深い理解、そして自分と異なる価値観や文化を持つ人たちとの共生へとつながっていきます。今はアメリカも右傾化が進んでおり、排他的で危険な状態にあります。図書館、司書の使命は、人と情報を結びつけ、その人の人生をよりよくすることにあります。私の場合、これは自分の好きなことで人生の使命だと感じます。いつのまにか使命 (大きな達成目標) の一致する職業に就いていたのはとても幸運です。是非、みなさんも、自分の「人生の使命」を就職活動をする前に考えてみてください。

ところで、日本に存在している資料をアメリカや海外で提供するには難しい面があります。原因としては、日本から取り寄せるのに日数がかかること、日本の学術論文のデジタル化が進んでいないことなどがあげられます。



(slide 11)

ミシガン大学にあるハッシーコレクション資料についてお話しします。このコレクションは、第二次世界大戦後、GHQのメンバーとして東京に赴任していた海軍大佐、アルフレッド・ハッシー (Alfred Rodman Hussey) によってアメリカに持ち帰られ、その後、ミシガン大学に寄贈されたものです。その中に、憲法普及会が作成したスライドもありました。

Alfred Rodman Hussey papers (1945-1948)

3650 document titles (per index)

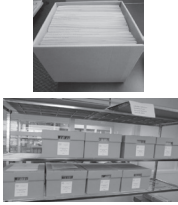
Collected by Alfred Rodman Hussey (1902-1964) during his work with the Government Section, the Supreme Commander for the Allied Powers (SCAP), in the period of the Allied occupation of Japan following World War II, and later in the Central Intelligence Agency.

1964 Donated to the Center for Japanese Studies by Alfred Rodman Hussey family by his Will. Housed in the Asia Library.

1977 (Ms. Naomi Fukuda)
Microfilmed in March, 1977
Checklist

2014 (Preservation project)
Special Collections Library
Finding aid online – Use at site or request digital copies from the Special Collections Library

2015
Microfilm Checklist digitized in Hathi Trust
Worldwide public domain
Full-text checking list download available

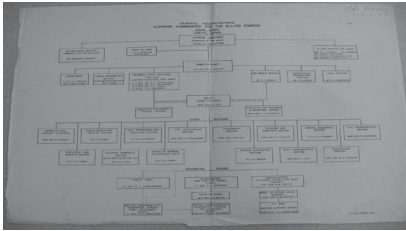


(slide 12)

このスライドはコレクションの保存状況です。コレクションは寄贈後、金属のファイルキャビネットに入れて保管されていました。現在、資料はマイクロフィルム化もされています。2014年にきちんと整理し直され保存処置が取られスペシャルコレクションとして保存されています。索引はデジタル化されて公開されており、このコレクションのオリジナルを閲覧する前に、索引をオンラインで海外からでも検索できるようになっています。いくら貴重なコレクションでも、資料の存在が知られず、索引だけでも遠隔地から調べることができないと資料を死蔵化することになります。

スペシャルコレクションとして保存されています。索引はデジタル化されて公開されており、このコレクションのオリジナルを閲覧する前に、索引をオンラインで海外からでも検索できるようになっています。いくら貴重なコレクションでも、資料の存在が知られず、索引だけでも遠隔地から調べることができないと資料を死蔵化することになります。

Supreme Commander for the Allied Powers (SCAP)
"SCAP organization chart" (file 1-D-2-1)




(slide 13)

これはハッシーコレクション文書の一例でGHQの組織図です。

the Hussey Collection
Slides promoting the new Constitution

Slideshow (Gento, 577) was a popular means of information dissemination in Japan

Michigan holds one Constitutional slide set (only one box of two, 2/2)

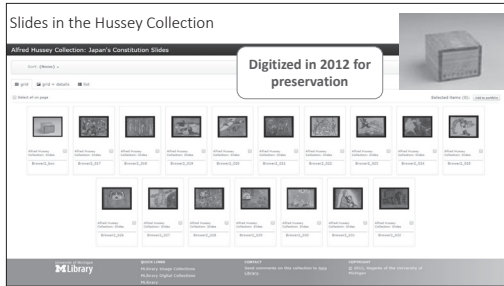


GentoM used in 1952?, Gift by Tochiaki Kawamoto (1930-2016) held at the Kobe Planet Film Archive.

NOT found at the National Diet Library, Waseda Tsuibouchi Memorial Theater Museum, Kobe Planet Film Archive, The National Museum of Modern Art, Tokyo, Film Center, and antiquarian bookstores. (Resource check with the cooperation by Ms. Hana Washitani, Research Fellow at the International Institute for Children's Literature, Osaka)

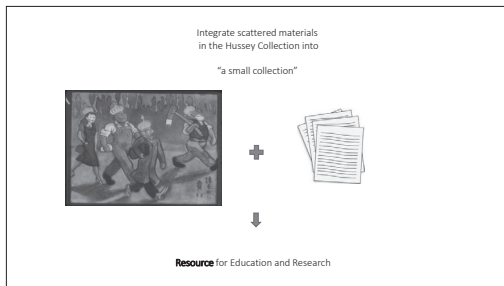
(slide 14)

憲法普及会のスライドは2箱分あるはずですが、ハッシーコレクションには1箱分しかありません。日本国内の図書館、古書市場にも問い合わせた探しましたが見つからず、でも、どこかに存在しているはずですが。皆さんもいつかどこかで見つけられたら、是非、知らせてください。



(slide 15)

憲法普及会のスライドは著作権が失効しているため、デジタル化・公開しています。ミシガン大学の Online Exhibits (<https://www.lib.umich.edu/online-exhibits/exhibits/show/hussey-slides>) で閲覧可能です。



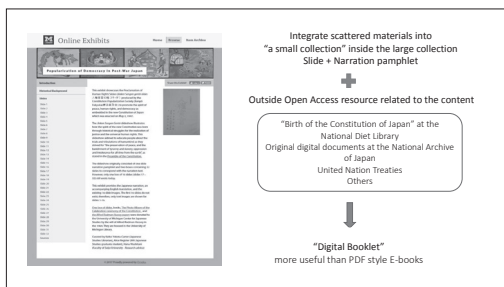
(slide 16)

憲法普及会のスライドは幻燈として上映し憲法について教えるためのものでした。幻燈があるのであれば、そのナレーションもあるはず。語りと絵を合わせることで、新しい資料になるはずですが。そこでコレクションの文書の中でナレーションを探すことにしました。



(slide 17)

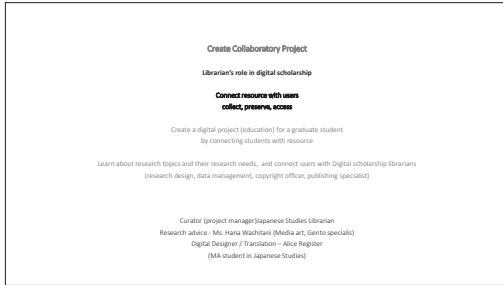
また、資料は、どのような方法で公開するのが利用者にとって一番利用しやすいのか、資料を提供するためのプラットフォーム、資料公開の場についても考える必要があります。そこで、画像に説明をつけて展示でき世界中から見てもらえるオンライン展示を選択しました。



(slide 18)

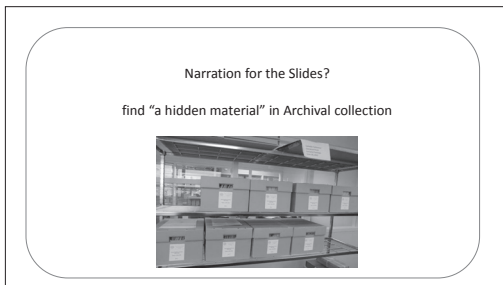
スライドを展示の中にすべて入れ込み、英語訳と歴史的背景の解説もつけました。憲法原文や関連文書等の付随資料も加えて、画面からクリック一つで、その関連資料のオープンアクセス全文が読めるようにもしてあります。これは、一つのデジタルブックレットを作っているような

気持ちになりました。ちなみに、日本の電子書籍はいまだにPDFなので、テキスト内からデータや参考文献などにリンクができません。現在、ミシガン大学出版局では、電子プラットフォームの良さを生かして、本文から画像、動画、音源、データ、参考資料にリンクされて、すぐに参照できるような「電子書籍」が開発されています⁽³⁾。



(slide 19)




このプロジェクトは、司書、研究者、そして大学院生のコラボレーション企画として行いました。特に、大学院生には、このプロジェクトに参加して、資料を利用者に結び付けるために保存やアクセスを考える、扱う資料内容とその歴史的背景について学び、また電子ビジュアル展示のための新しい技術を学び、協力して仕事をするというのも学べるように作業を考えました。



(slide 20)

ナレーション資料探しについてです。hidden material というのは、存在しているのに、どこかに隠れている資料のことです。特に、日本のように文字文化の歴史が長く、識字率も高く人文学文化の豊かな国には個人の家にもまだまだ隠された宝物として眠っています。こういった貴重な資料が痛み、損失する前に整理し保存することが大切で、これからも図書館ができる重要な仕事は山のようにありますね。

Are these pamphlets related to the slide set?

<p>Jinken sengen 人権宣言 Proclamation of Human rights</p> <p>画 近藤日出造</p> 	<p>ie 家 Family system</p> 	<p>Shin kenpo 新憲法 New Constitution</p> 
---	---	--

(slide 21)

ハッシーコレクションの中身を調べてみると、スライドのナレーション冊子は3種類、出てきました。その中でどれが正しいのでしょうか？

Research collaboration – Hana Washitani, 鷺谷花氏 (Gento specialist)
Research Fellow at the International Institute for Children's Literature, Osaka




“労働教育幻灯フィルムリスト” [労働教育 憲法普及会資料] (労働省、中央労働学園、1947)、
「事業概要報告書」(憲法普及会、1947) (NDJ) The online content is limited to the libraries in Japan.
国立公文書館 公開資料

- 事業概要報告書 (1947) 10頁、事業報告制作の経緯を詳しく述べている。
- 「労働教育」の経緯が、製作の経緯も記述されている。
- 「労働教育」の経緯が、製作の経緯も記述されている。この中で、労働教育の経緯が詳しく記述されている。この中で、労働教育の経緯が詳しく記述されている。この中で、労働教育の経緯が詳しく記述されている。

(slide 22, 23, 24)

幻燈研究者の鷺谷花先生の協力を仰ぎ調べていただきましたところ憲法普及会の事業概要報告書を見つけて下さいました。この報告書は国立公文書館でフルテキストが公開されていたので、私も海外からすぐに調査できました。このように、一部の、特別に許された人だけではなく、すべての人が情報に平等にアクセスできることが重要なのです。

Are these narrations related to the slide set?

<p>Jinken sengen 人権宣言 Proclamation of Human rights</p> <p>★</p> <p>Match the number of episodes and the number of slides, match the content, the art form matches with the one of Kondo Hideozo. 近藤日出造</p> 	<p>ie 家 Family system</p> <p>Do not match the content.</p> 	<p>Shin kenpo 新憲法 New Constitution</p> <p>Do not match the number of slides and the episode, the content does not match.</p> 
--	--	--

憲法普及会のスライドは近藤日出造が絵の部分を担当していました。近藤は読売新聞で政治的な風刺漫画を描いていた人です。Wikipedia でそのことを知り、確かめるために読売新聞のオンラインデータベースであるヨミダスで調べると情報がでてきました。有料ですがオンラインのヨミダスが存在することで、遠隔地からすぐに調べることができたわけです。

Kondo, Hideozo 近藤日出造 (1908-1979)

Cartoonist

1926 Started his career as a cartoonist in Tokyo under Ipppei Okamoto
Political cartoonist, current issues, portraits

1932 Organized the "Shin Mangaka shudan 新漫画家集団" (New Cartoonist Group), later known as Mangaka shudan漫画家集団)

1933 Started working at the Yomiuri Shinbunsha. Political cartoons.

1940 Became the Head editor for *Manga*, the monthly magazine for the "Shin Nihon Mangaka Kyokai 新日本漫画家協会" (New Association of Japan Cartoonists)


1945 October "Manga Shudan 漫画家団" (Cartoonists Group)

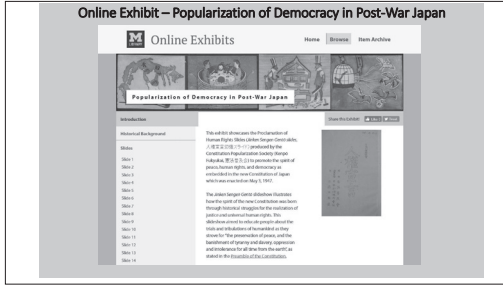
1954 The first president of the Nihon Mangaka Kyokai 日本漫画家協会

1965 Board member of the Tokyo Design College. Established "Manga" department.

1979 Deceased at the age of 71.

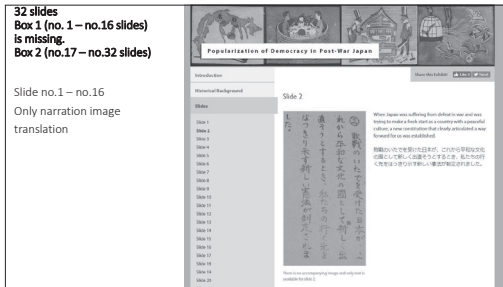
Do not mention about his *Jinken* slides in his biographical essay. [Hideozo hizakurige, 1954](#)
(*Yomidasu, October 19, 1940, Morning edition, page 3.)





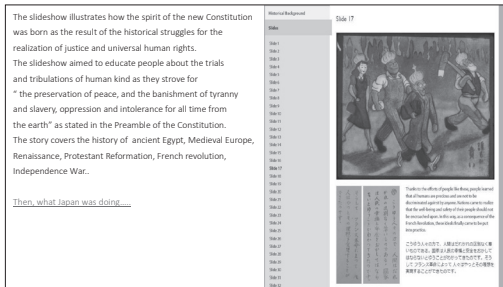
(slide 25、26)

学生に日本語のナレーションを英訳してもらい、英語訳はその学生と2人で検討しました。スライド本体が発見されおらず、ナレーションだけが見つかった1～16枚目に関しては語りの部分のみを公開し、スライドが見つかった17枚目以降は絵と文章をあわせて公開しています。ぜひ、オンラインで見てみてください。



(slide 27)

スライドにはエジプトの奴隷制度などが描かれています。中世の農奴、ルネッサンス、フランス革命、そして独立戦争と、人間の人権の歩みの歴史の中で人権宣言が捉えられ、日本での基本的人権へと話がつながっています。



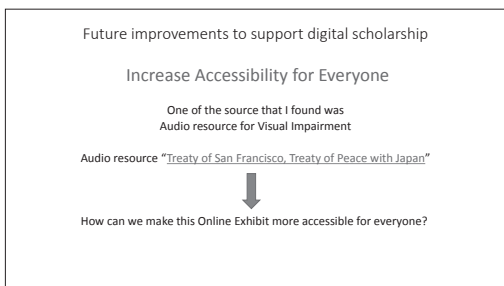
ハッシーコレクション内の一次資料を読むと、ハッシーはこの憲法普及会の仕事をGHQ側から支援する仕事をしています。憲法制定のGHQ側の記者会見では、国民主権と民主主義を日本人が理解しやすいように自ら図まで用意していました。ハッシーはマサチューセッツ州プリマス出身の人で、マサチューセッツの草の根民主主義を誇りに思い、日本での仕事に当たっていました。彼は帰国後、米国の人種差別や公民権についても新聞に投稿したりエッセイを書いており、それらもハッシー文書の中に保存されています。民主主義を人種や国を超える人類が歴史上で達成してきた普遍の原理だと考えていたことが伝わってきました。



(slide 28)

これは国会図書館のデジタル資料です。ここには憲法制定に関する重要な文書が電子化されてまとめられています。私自身、このプロジェクトをすることでこの国会の資料をよく使いました。日本がポツダム宣言を受け入れ、憲法が当時のど

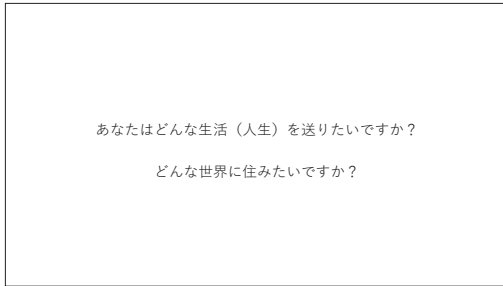
んな国際環境の中で改正されたのかという流れ、また、すでに国内に近代より生まれていた民主主義形成に取り組む様々な団体が憲法案を提出していたこと、憲法改正案は国会議員による小委員会で審議され、国会の承認を経て日本人が自ら制定したことなど、一次資料をオンラインですぐに確認することができ、自分で歴史事実を知り考えるためにとっても勉強になりました。デジタル化された資料が保存され、見つけやすいように整理、公開され、そのアクセスが平等に保障されていることは、人々が自主的に学習し、考え、判断し、行動していく、つまり民主主義、民主的な社会の基本であると言えます。



(slide 29)

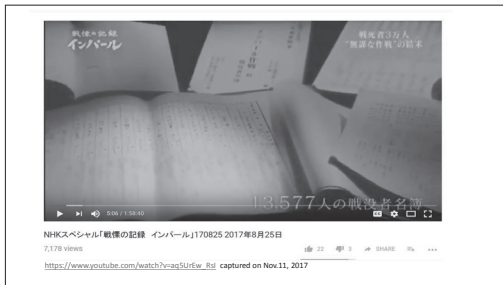
サンフランシスコ講和条約について調べている時、YouTube でオーディオ資料を見つけました。図書館で働いていると文字で読む書籍が中心になりがちです。条約についてオーディオで提供していることは知りませんでした。

日本の大学図書館も取り組みが進んでいますが、米国の図書館でも身体障害者など、どんな条件でも授業を受けられ、勉強できるように環境を整えています。オーディオ資料を見つけたことで、どんな状況の人、例えば視覚障害者などでも、資料の内容を容易にわかるように努力がなされていることを知り、平等にアクセスを提供する図書館サービスをしていく重要性を再確認しました。



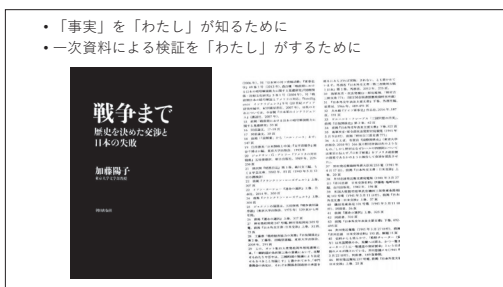
(slide 30)

ここからは大きな問いかけです。毎日、自分に自身に問いかけていることでもあります。今、世界は大きく変わっています。皆さんはどんな世界に住みたいですか。



(slide 31, 32)

これはNHKで放送された、インパール作戦に関する番組や、空襲に関する番組のタイトル画面です。イギリスに残っていた資料や、アメリカの空軍資料をNHKが入手し、データベース化しました。米軍は全てを記録・保存し、海外の放送局であっても利用を許可しています。この例から、日本における公文書の記録と保存、公開についても考えてみましょう。



(slide 33)

東京大学の加藤陽子先生は、高校生と、戦中のリットン調査団報告や、経済資料を一緒に読みながら歴史を学ぶ授業を行いました。スライドにある加藤先生の授業をまとめた本は、どんな資料がどこにあり、研究者が資料をどのように使うの

か知るのに役に立ちました。加藤先生は生徒に、「自分で資料を探して調べ、考えを述べてください」という宿題を出しています。先ほどのインパール作戦の例にあるように、人々は事実を知らされず無謀な戦争に巻き込まれていった歴史がありました。私たち一人ひとりが自分の人生の主人公であり幸せに生きるためには、自分で考え、行動しなくてははいけない。そのためには、事実が記録され、保存され、誰しものが平等にアクセスできる状態であることが重要だということもわかってきます。自由に幸福に生きることと

情報の関係も考えてみましょう。

図書館は何のために誰のために存在するのか

- 図書館で大切なことは何なのか
- なぜ収集するのか
- なぜ保存するのか
- 資料の公開、閲覧の自由は大切なのか
- 資料利用の自由が保障されることはなぜ大切なのか
- 他には？
- そのためには何をすることが必要なのか

図書館のない社会に住みたいですか？

(slide 34)

「図書館は何のために存在しているのか？」図書館が存在しない世界は事実の記録が保存されず怖い社会です。みなさんはどう思いますか。どうか、考え続けてみてください。

最後に。

新島襄先生は若き日に自由と人権を求め、「密航者」としてハーディー氏が船主である船に乗り込みボストンに到着しました。ハーディー氏はこの東洋から来た得体の知れない「密航者」を追い返しませず、一人の人間として尊重し、それも我が息子として育てアモスト大学で教育を与えました。これはマサチューセッツに根づくキリスト愛、民主的な人権思想に裏付けられたものであったと思います。キリスト教に基づくアモスト大学で薫陶を受け、「自由と良心に立つ人間」を育てることを理念とする大学を、1875年、同志とともに新島先生は創立されました。その70年後の1945年に、もう一人のマサチューセッツ州出身者が日本に占領軍の一員として赴任します。同州の草の根民主主義を誇りに思い、自国の人種差別にも反対したハッシーは日本の新憲法が定める主権在民、基本的人権を「人類普遍の原理」として「人間の良心」に基づいて普及するためGHQ側で尽力したように私は思います。この同志社大学で、ハッシーが保存しミシガンに寄贈してくれた平和憲法スライドについてご紹介でき、人間の知識文化継承のためにある図書館の役割についてお話しできたことは深い喜びです。

私はアモスト大学で教えるご縁を得て、美しいアモストで暮らしながら日本の自由と人権思想に繋がる深い水脈を知りました。そのことは私の三十年に及ぶ米国での生活の基盤となりました。同志社大学とゆかりのあるアモスト大学で仕事をしていた私が紆余曲折の後、ミシガン大学に移り、マサチューセッツ出身のハッシー文書に出会い、その平和憲法普及資料を同志社大学で次の世代の方にお伝えできたことは奇跡の環のようです。この光栄な機会をくださいました原田隆史教授、佐藤翔助教授、ご清聴いただいた学生さん達の未来が啓開されんことを心から祈り感謝申し上げます。

参照資料

(1) 「もっと広い世界へ 留学のすすめ」<http://hdl.handle.net/2027.42/134055>

- (2) Japanese Studies Research Guide <http://guides.lib.umich.edu/japanesestudies>
- (3) Fulcrum.org オープンアクセスの資料、紙版の書籍に含めることの困難な電子資料—画像、動画、データ等を紙版を補充する形で提供する。
A Mid-Republican House from Gabii https://quod.lib.umich.edu/g/gabii_1_data/
Michigan Press 出版の考古学電子書籍の例。3D画像やこの本の考古学調査で収集された資料のデータベースが電子書籍の中に入れこまれており、電子書籍内から直接にデータ情報が閲覧できるようになっている。
著者プロフィール <https://www.lib.umich.edu/users/kyokotac>

(よこた かーたー けいこ。

ミシガン大学 Hatcher Graduate Library 日本研究司書)